学習委員会だより

日本でも一般的になってきたハロウィーンですが、どんな行事なのか、知っていますか？

キーワード『scary and fun』（怖くて楽しい）

In Canada, Halloween is on October 31st. When I was a child, I went trick-or-treating with my friends. We dressed up in costumes and went from house to house, saying “Trick or treat!” People gave us candy and chocolate.

My family also decorated our yard for Halloween. We put up scary and fun decorations. I liked seeing our yard and other houses look spooky.

Halloween was always a fun time!

When I was～
「渡した～だった時」
child「子ども」
went「go(行く)の過去形＝行った」
go trick-or-treating
「トリック オア トリートをしに行く」
dress(ed) up
「着飾る(着飾った)」
from～to…
「～から…へ」
saying
「言いながら」
gave(give の過去形)
「与えた･くれた」
also「～もまた」
decorate(d)
「飾る(飾った)」
yard
「前庭」
put up
「～を置く」
scary「怖い」
decoration(s)「飾り」
like(d)～ing
「～することが好き(だった)」
spooky「不気味な」
always「いつも」

カナダでは、ハロウィーンは 10 月 31 日です。私が子供の頃は、友達と一緒に「トリック・オア・トリート」をして回りました。私たちは仮装をして、家から家へと「トリック・オア・トリート！」と言いながら行きました。すると、家の人たちがお菓子やチョコレートをくれました。

私の家族も、ハロウィーンに向けて庭を飾り付けました。怖くて楽しい飾りをたくさん置いたのです。自分の家の庭や近所の家々が、不気味な雰囲気に包まれているのを見るのが好きでした。ハロウィーンは、いつもとても楽しいイベントでした！

『scary and fun』（怖くて楽しい）

ハロウィンは、2000 年以上前、現在のアイルランドなどに住んでいた古代ケルト人の祭礼「サウィン（Samhain）」が起源だといわれています。サウィンは「夏の終わり」を意味し、秋の収穫を祝うとともに、悪霊を追い払う宗教的な行事として、古代ケルト人の暮らしに根づいていました。

ケルトの暦（こよみ）では、10 月 31 日は 1 年の終わりの日であり、死者の魂が家族のもとへ戻ってくる日としても信じられていました。死者の魂とともに悪霊も一緒にやってくると考えられ、その悪霊に人間だと気づかれないように、火を焚いたり仮面を着けたりして身を守ったといわれていて、この風習が、ハロウィンの仮装の起源となりました。

子どもたちが仮装して「Trick or Treat!」と言いながら家々を回ってお菓子をもらうことが有名ですね。「Trick」は「たくらみ」や「悪ふざけ」などを意味し、「Treat」は「大切に扱う」「もてなす」などを意味します。「Trick or Treat」とは、「悪霊にいたずらされたくなければ、お菓子をちょうだい」と言いながら家々を回って、この日をお祝いする言葉なのです。





2 枚の写真は、カナダのレース先生のおうちの飾り付け（decorations）です。発泡スチロールで作ったお墓を前庭（yard）にならべ、墓地のようにしています。毎年、家族でアイデアを出し合って、手作りするそうです。バスケットボールを楽しむガイコツたち（skeletons）がいて、レース先生らしいですね。ちょっと不気味（spooky）で怖い（scary）けれども、楽しい（fun）行事です。



